

海外就学経験者(帰国生)入試 要項 日本語基準 英語基準

1. 趣 旨

海外での学修・生活経験や、その後の日本での学修活動などを総合的に評価する入試方式です。言語や文化の異なる国・地域での体験を活かして、将来活躍したいという思いを持つ人は、積極的にチャレンジしてください。

2. 募集人数

学部	募集人数
アジア太平洋学部 (APS)	20名
国際経営学部 (APM)	10名

※募集人数は、第1回から第3回までの合計です。

※出願状況および選考の結果によっては、合格者数が募集人数を下回る場合があります。その場合、残りの人数は他の入試方式で募集します。

3. 出願資格

日本国籍を有する者（日本に永住権を持つ者※を含む。）であって、次の（1）と（2）、（3）の全てに該当する者。また、英語基準出願者は、（1）と（2）、（3）に加えて、（4）にも該当する者。

*日本に永住権を持つ者とは、出入国管理及び難民認定法による「永住者」の在留資格を持つ者もしくは日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法による「特別永住者」をいう。

- (1) 出願学部への入学を希望し、合格した場合には入学する意思を持つ者
- (2) 次のいずれかに該当する者。
 - ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を2018年4月1日以降に卒業した者、または2021年3月31日までに卒業見込みの者
 - ② 特別支援学校の高等部、および高等専門学校の3年次を2018年4月1日以降に修了した者、または2021年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを2018年4月1日以降に保有した者、または2021年3月31日までに取得見込みの者
 - ④ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を2018年4月1日以降に修了した者、または2021年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑤ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると2018年4月1日以降に認められた者、または2021年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校（Grade 7以上。文部科学大臣認定等在外教育施設を含む。）にあたる課程で、通算2年以上の教育を受けた（または2021年3月31日までに受ける見込みの）者。

自身の学修歴が出願資格を満たすかどうか分からない場合は、「出願資格の事前審査」をご利用ください。
詳しくは受験生サイト APUmate をご覧ください。

【英語基準出願者のみ】

(4) 英語能力に関して、下記①～③のいずれかに該当する者。

① TOEFL iBT[®] Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

本学が「TOEFL iBT[®] Test 75点」に相当すると認めているスコアや資格は以下のとおりです。

TOEFL iBT [®]	IELTS (Academic Module)	TOEIC [®] (L&R/S&W)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
75	6.0	1600	準1級	318	630	1215	169	50

※英語能力に関する試験結果は、証明書に記載された受験日が2018年10月1日以降の物を有効とします。

※TOEFL iBT[®] Test は、Test Date Scores のみを採用します。MyBest[™] Scores は採用しません。

※TOEIC[®] (L&R/S&W) については、TOEIC[®] S&W のスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※IELTS については、各項目が5.5以上であることとします。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。

※GTEC は、オフィシャルスコアに限ります。

② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目（言語教育科目を除く）を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

4. 選考方法

(1) 第1次選考 出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」・「エッセイ」は英語で作成してください。

【主な評価ポイント】

出願書類：志望学部への興味・関心、海外における経験の豊かさとその成果、高等学校に相当する課程での学修成果、言語能力の水準 など

エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

(2) 第2次選考 個人面接（約30分）

第1次選考合格者に対して、出願書類に基づく質疑応答を中心とするオンライン面接を行います。

※面接は、日本語基準出願者は日本語、英語基準出願者は英語で行います。

※面接日時および方法については、第1次選考の結果通知時にお伝えします。

【主な評価ポイント】

APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか、など

(3) 最終合否判定

第1次選考・第2次選考の内容を総合的に評価し、合格者を決定します。

5. 出願期間・試験日・合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考試験日 ※下記の期間から本学が 日時を指定します。	合格発表日
第1回	2020年 9月1日(火)～9月28日(月)	10月16日(金)	10月21日(水)～10月23日(金)	11月2日(月)
第2回	2020年 10月22日(木)～11月23日(月)	12月11日(金)	12月16日(水)～12月18日(金)	2021年 1月12日(火)
第3回	2020年 11月26日(木)～12月11日(金)	2021年 1月15日(金)	1月20日(水)～1月22日(金)	2月2日(火)

※第1次選考の結果は、結果通知日の13時からオンライン合否照会で通知します。

※募集区分が異なれば複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます。同日実施の方式でも併願できます。ただし、出願書類は流用できません。それぞれの出願について出願登録を行い、必要書類は入試方式ごとに別々の封筒に封入して送付してください。

出願方法等については、「共通ページ」を参照してください。